

1 社会・治安情勢

ザンビアの主要輸出品である銅の国際価格が下落傾向にあり、ここ最近では鉱山労働者の失業が相次いでいる。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、クワチャ安がこれに拍車をかけ、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

また、ここ最近、深夜の計画停電の時間帯を狙った犯罪が多発しており、当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているため、犯罪の手口が凶悪化、組織化している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても昼夜を問わず銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が頻発している状況であり、特に、ここ最近の深夜の時間帯の計画停電における犯罪が多発しており、在留邦人がいつ被害に遭ってもおかしくない状況である。

在留邦人が居住する地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっており、若年層の新規雇用低迷、インフレ、生活インフラ整備の不足等に対し、多くの人々が不満を抱えており、これが何らかのきっかけで抗議や暴動につながる可能性も排除できない。

(2) 邦人被害事案

ア 8月26日、ウッドランド地区において、在留邦人宅で空き巣に遭う被害が発生。幸い、休暇中で不在のところ怪我等の被害は無いが、電化製品等が盗まれた。自宅にはバーグラバーが破壊された痕跡があり、それを不審に思った集合住宅の隣人の住人が通報した。

イ 8月27日昼頃、タウン地区において、邦人が運転する車両がラウンドアバウト交差点で進入のため停車中のところ、運転席側に数人が気を引かせるために近寄り、そのすきに助手席のドアを開け、携帯電話を盗まれた。この時、車両のロックをかけていなかった。

ウ 8月29日早朝、在留邦人が乗った車両が何者かにより投石され、車両のフロントガラスが破損する事件が発生。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 住居侵入強盗

(ア) 9月22日、ウッドランド地区の民家に窓から居間へ強盗が侵入し、現金及び貴重品30万円相当を奪い逃走した。

(イ) 9月25日、ウッドランド地区の民家に強盗が侵入し、現金及び貴重品60万円相当を奪い逃走した。

イ 商店侵入強盗

8月9日、ルサカ市内のショッピングモール・イーストパーク内のATMにおいてスキミング装置を取り外している2名の容疑者が逮捕された。当ショッピングモールは在留邦人が頻繁に活用する施設であり、ATMも使用されている。

ウ 車両盗難

7月18日22時頃、南部州のリビングストンでタクシー運転手が客に刺殺された後に、車両を強奪される事件が発生。

エ 強姦

8月4日、ウルウェジ地区のムレンバ村において民家に男が侵入し、家で寝ていた女性に対する暴行殺人の事件が発生。

このほかにも、多数の強姦事案が報告されている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

関連情報なし

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし